



# 第1回 国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト (iCAN2009)

The 1st International Contest of Applications in Nano /Micro Technologies

## 開催要項

### 【主催】

Chinese International NEMS Society、IEEE Nanotechnology Council、Asian Nano Forum、Prufstelle Testing and Certification Institute、MEMS パークコンソーシアム

### 【後援】

MEMSIC、MEMSensing、Intellisense、Nippon Signal、International Micro-Nano Innovation Park

### 【日本予選主催】

MEMS パークコンソーシアム、東北大学マイクロシステム融合研究開発拠点

### 【概要】

MEMS デバイスを用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競う国際コンテストです。対象は高校生、高専生、専門学校生、大学生、大学院生のチームです。日本、中国、アメリカ、ドイツ、シンガポール、台湾、香港の7つの国と地域で予選を行い、2010年1月に中国の Xiamen(厦門)で本選を行います。

### 【スケジュール】

#### 国内予選

#### 1次審査(書類審査)

2009年4月6日(月) 受付開始

2009年6月19日(金) 受付締め切り

2009年6月29日(月) 審査結果発表

#### 2次審査(試作、発表)

2009年7月上旬 試作のための MEMS デバイス配布

2009年7月~9月 グループ毎で試作

2009年10月13日(火) 日本予選会開催(試作の成果を発表)

東北大学百周年記念会館(川内萩ホール)

## 本選

2010年1月20～23日 中国 Xiamen(厦門)にて開催

### 【参加資格】

高校生、高専生、専門学校生、大学生、大学院生で構成された2～3名のチーム

### 【利用可能な MEMS デバイス】

光スキャナ(日本信号社)、加速度センサ(MEMSIC 社)、磁気センサ(MEMSIC 社)、シリコンマイク(MEMSensing 社)

以下のホームページにデバイスの詳細情報がありますのでご参照ください。

<http://www.ican2009.com/sensor>

### 【1次審査】

上記の MEMS デバイスを利用したアプリケーションのアイデアを提案してください。利用する MEMS デバイスは1個でも結構ですし、複数個、複数の種類でも結構です。申込書を以下のホームページからダウンロードして入力した後、電子メールに添付して iCAN2009 日本事務局まで送ってください。

申込書

[http://www.rdceim.tohoku.ac.jp/iCAN2009/attach/iCAN2009\\_JapanApplicationForm.doc](http://www.rdceim.tohoku.ac.jp/iCAN2009/attach/iCAN2009_JapanApplicationForm.doc)

送付先

iCAN2009 日本事務局 [ican2009.japan@mems.mech.tohoku.ac.jp](mailto:ican2009.japan@mems.mech.tohoku.ac.jp)

審査基準

アイデアのユニークさ、社会に役立つか、などのポイントについて審査します。

審査の結果、上位約 10 チームが 2 次審査に進みます。

### 【2次審査】

1 次審査を通過したチームに対して、申込書に書かれた MEMS デバイスを配布しますので、チーム毎に実際にアプリケーションを試作してください。その成果を日本予選会で発表していただきます。審査の結果、上位 3 チームが中国の本選に進みます。

### 【本選】

中国 Xiamen(厦門)にてチーム毎に発表を行います。審査の結果、以下の賞金が授与されます。

1 位:3,000 米ドル (2 チーム)

2 位:2,000 米ドル (4 チーム)

3 位:1,000 米ドル (6 チーム)

### 【費用】

1 次審査を通過したチームには MEMS デバイスを無償で提供します。

仙台で開催する国内予選の旅費、宿泊費の一部、および中国で行う本選の旅費、宿泊費の全部については、MEMS パークコンソーシアムが負担します。

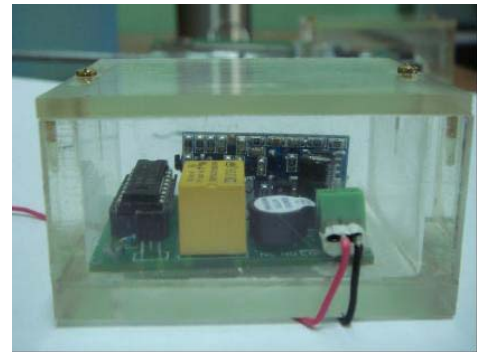
【これまでのコンテスト(中国国内に限って開催)で提案されたアプリケーションの例】

・フィットネステレビゲーム

加速度センサを体に装着して、ジャンプなどの動作を検知し、テレビゲーム内のキャラクターを操作する。

・「ワレモノ注意」運送中の加速度アラームシステム(右図)

壊れやすい物品をトラックで運送中、衝撃など一定以上の加速度が加わった際にドライバーに知らせる。物品が壊れないようにやさしい運転を心がけるようにする。



【注意事項】

提案するアイデアは学生チームが発案したオリジナルのものに限ります。

特許などの知的財産として出願が必要と考えられる場合は、それぞれが所属する機関のルールに従い、手続きを行ってください。申込書を事務局に提出する前に、アドバイザーの先生や知的財産の担当者に相談することをお勧めします。

iCAN2009 中国本部ホームページ: <http://www.ican2009.com>

iCAN2009 日本事務局ホームページ: <http://www.rdceim.tohoku.ac.jp/iCAN2009/index.html>

問い合わせ先: iCAN2009 日本事務局 [ican2009.japan@mems.mech.tohoku.ac.jp](mailto:ican2009.japan@mems.mech.tohoku.ac.jp)